

2022 年秋学期/アリゾナ州立大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業の科目は Listening/Speaking と Writing/Reading、Communication の3つで、Writing/Reading と Listening/Speaking は週480分、Communication は週75分ありました。時間は月水金は9時40分から11時半までと11時50分から1時40分まで、火木は1時半から2時45分までと3時から4時15分まででした。そして、Communication は月水金のどれかの3時から4時15分まででした。2セミスターあり、それぞれに中間テストと期末テストらしきものがありました。

3つの授業に分かれており、一つ目のリーディング・ライティングでは文法や長文読解、エッセイの作成を行い、二つ目のリスニング・スピーキングでは単語を覚えたリスニングの練習、パワーポイントを使ったプレゼンを、三つ目のコミュニケーションではグループディスカッションなどを行いました。

その日のテーマについて先生と生徒で討論し、生徒から出てきた答えを深く掘り下げていく形でした。テストはよくあって、テストがあるたびにフィードバックを直接してくれて次どうすればいいか対策を練ってくれました。

集団授業で、先生によって差はありましたが、満遍なく生徒に授業内容の問いかけがありました。

教科書を使って進めていったり、ほぼグループワークで話し合っ進めて言ったり先生によってさまざまでした。

スピーキング・リスニングとライティング・リーディングの授業に分かれている。スピーキング・リスニングのクラスは、プレゼンテーションが多い。また、6分間のリスニングをしてから要約をするテストがあるが、とても難しかった。セッション A と B があるが、A から B にかけてとても難しくなった。

教科書に沿って進められていました。

対面

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

20人程度、日本人3から10人、クラスのレベルや内容によって人数がバラバラでした。サウジアラビア、メキシコ、韓国、中国、台湾、トルコなど

人数は Reading/Writing は約15人で、Listening/Speaking は約20人、Communication は18人でした。日本人の比率は Reading/Writing は4割、Listening/Speaking は5割、Communication は8割でした。他の留学生はアラブ諸国や中国、台湾、韓国、ブラジルなどがいました。

クラスによって人数は変わりますが大体15人前後のクラスで比率は7:3か6:4ほどで日本人のほうが少ないです。留学生の出身国は中国、台湾、韓国、クウェート、サウジアラビア、ブラジル、ドイツなどでした。

日本人、中国人、台湾人、アラビア人、メキシコ人で主にクラスは構成されていました。前期は日本人よりも中国人のほうが多かったです。後期は日本人のほうが少し多かったです。

アラブ系の国出身の方や中国、台湾出身の方が多かったです。でもやっぱり留学プログラム全体の留学生を見た感じだと日本人の比率が多かったです。一クラスの人数は25人くらいで、3、4クラスありました。

二十人中八人

15人くらいで日本人が5人くらいです。アメリカ出身の子はいなかったですが、クウェート、サウジアラビア、トルコ、中国、韓国、などです。

約20人くらいクラスによって留学生比率は変わるので正確には言えないが、私のクラスには、サウジアラビア人、韓国人、中国人、台湾人、トルコ人、ブラジル人、メキシコ人がいた。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

発言回数が多い、グループワークが多い

普通に遅れてくる人が多い

海外の人は、日本と違って人の目を気にすることなく自分の意見をしっかり発言する。そのおかげで、私も分からないところを聞きやすかった。休み時間はクラスの人とコミュニケーションをとったり、とても仲が良かった。

授業はもちろん全て英語で行い、できるだけ違う国出身の人とペアを組んで会話やペアワークしました。教科書は外大の英語の授業で使うものと似ていました。日本人はそこまででしたが、他の国出身の留学生はよく授業中に会話して注意されていました。

クラスによりますが、クウェートやサウジアラビア出身のクラスメイトが場を盛り上げてくれることが多かったです。留学プログラムだからというのはあるとは思いますが、日本の大学の講義のような授業はひとつもなかったです。講義授業のように教師だけが話すというようなこともなく、基本的に生徒か教師のどちらかはずっと話しているというような状態でした。

みんなが積極的に発言し、グループワークなども多々ありました。

発言の機会が多く、ほとんどの生徒が授業中に質問を頻繁にしていました。

答えが分かったら皆すぐ発言する点です。自分が当てられた時に少しでも詰まったらその子たちが先に答えてしまうので、授業に遅れないよう必死でした

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

母国の面白いビジネスについてのプレゼンテーション

なぜ食事を変化させるかというトピック。実際アメリカに来て食生活が大きく変わったので興味ぶかかった

ユニークな仕事をしている人をとり上げる授業で、日本の仕事を取り上げられていたこと。仕事内容が、破れたり、汚れてしまった服を跡形もなく綺麗にするという仕事だった。クラスメイトのほとんどが日本人すごいねといってくれたことから印象に残っています。

よく自分の国とアメリカの文化や習慣を比較するようなトピックが出題されました。例えば、交通機関やマナーなどです。また、終盤にかけて失敗から学んだことなどテーマが難しくなってプレゼンやエッセイをするのに苦労しました。

人生の成功と失敗というトピックが1番印象に残っています。人生において成功とは何か、失敗とは何か、と問いかけられた時、日本語で答えるのも正直難しいと思う問題を英語で答えなければいけなくて頭を抱えていたのが記憶に残っています。自分の考えているニュアンスで意見を伝えられているのかがわからなくて難しかったです。

自分の国は何が魅力的なのか

それぞれの国でのルールやマナーなどについて学習した時は、どの国も異なった意見がたくさん出ていてとても面白かったです。

養子は幸せか、という話題です。それまで考えたこともなかったので戸惑いましたが、様々な意見があるのだなと感じました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

授業内で問題を解くスピードが速かったので、事前に内容を頭に入れてから授業を受けていました。

養子は幸せか、という話題です。それまで考えたこともなかったので戸惑いましたが、様々な意見があるのだなと感じました。

スピーキング・リスニングの授業が私にとってすこしレベルが高かったので、分からないところがあればその時に聞くことと、クラスメイトの人が言ったことをまねしたり、いいところを盗むようにしていた。

週末にたくさん課題が出されるので、できるだけ量を少なくするために課題が出るとすぐ取り組むようにしていました。また、日本人以外の生徒と会話するように努力していました。

先生の話に注意して聞くようにしていました。それをするだけでリスニング力が鍛えられると思ったからです。それとなるべく日本人以外の人と授業中話すことを心掛けていました。

わからなかったら先生に質問するか、他の国の人に質問したり、とにかく参考にできるものはすべてマネしていました。

少しでもわからないことがあるとすぐに取り残されてしまうので理解できるまで何度も先生に質問をしたりほかの留学生に聞くようにしていました。

1回も日本人と隣の席に座らないようにしました。仲良い外国籍の友達と常に居て、分からないことがあればその子に聞く、分からない単語があればお互いに辞書を使わず英語で説明する、と心がけました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ホームステイメイトはいましたか。	ホームステイメイトはどこの人でしたか。
0人(4人)	
1人(3人)	日本
4人(1人)	日本、アメリカ

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
バス(8人)	15~30分(1人)	大学内のカフェテリア(1人)
	45~60分(3人)	
	60~75分(1人)	ホームステイ先(7人)
	90分以上(3人)	

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベット、勉強机、ドレッサー、ハンガー	ティッシュ、スリッパ
ベッド椅子机ドレッサー水筒傘布団	ヘアアイロン
バスタオル、自分の部屋、ドライヤー、	洗濯ネット、日本食(お味噌汁など)、シャンプーリンスなど、化粧水、メイク落とし
ベット、棚、ライト、机、ハンガー、Wi-fi、コンセント、タオル	ドライヤー、洗面用具、シャンプー類
ベッド、机、クローゼット、ハンガー、タオル、筆記用具が少し、クッションが 沢山	洗面具、身の回り品、服など
ハンガー、収納スペース、ベット、机、椅子、ゴミ箱、姿見鏡	シャンプー、リンス、ドライヤー、化粧品、歯磨きセット、昼食の材料
ベッド、机、タンス、筆記用具、棚、ハンガー	服、室内用のスリッパ、ドライヤー、充電器
バスタオル、ドライヤー、シャンプー、ボディーソープなど	体を洗うタオル、洗い流さないトリートメント、スリッパ、洗顔、化粧水など

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
靴を脱がないところ、湯船がないところ
靴を脱がないこと。でかいゴミ箱が家の外にあって収集車が集めに来る」
毎週日曜日はかならず教会に行くこと
ホームステイ先にポットがなかったので、湯を沸かすときに鍋する必要があった。トイレとシャワーが一緒の部屋にあるので早く出る必要があった。シャワーヘッドが動かないので浴びる時少し大変だった。
マザーが寝るのが早かったこと。水についての価値観が合わなかったこと。
寝るのが基本的に早い。(10時とか)
ご飯は作ってあるものや残り物を勝手に食べてよかったので初めのほうは待っていてもご飯が出てこないことがあり困惑した。
わたしのホストファミリーはご飯を作らない人だったので9割外食でした。また、シャワーの位置が高くて届きませんでした

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

お手伝いを積極的にすること、家族との時間を大切にすること、わからなかったら何でも聞くこと

部屋にこもらない

自分の部屋にこもりすぎないようにすること。常に笑顔でいること。家族のイベントごとは極力参加するようにする事。自分の意見ははっきり言うこと。

夏場はクーラーが効きすぎていることがあるので上着を持っておくといいと思う。

自分が思っていること、感じたことは素直になるべく全てホストに伝えることが大切だと思いました。ホストからどう思われるか考えることもあると思いますが、例えばマイナスなことだと思っていることを伝えなければ相手は何も気づかないし、何も変わらないまま我慢して過ごすことになる可能性もあるので絶対に伝えた方がいいと思います。

自分の思ったことや自分のその日の予定などはめんどくさくても早めに伝えたり、しっかり報告、連絡、相談はするべきだと思う。

部屋にこもらず普段からファミリーと会って頻りにコミュニケーションをとっておく。

コミュニケーションを取る事。何時に家に帰る、とか小さなことでも連絡することによってお互い安心することが出来ると思います。あとは、ありがとうを伝えること

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい (8 人)	日本から SIM カードを持参(8 人)	ワイヤレスで可能 (5 人)	はい(0 人)
いいえ (0 人)	日本の携帯をそのまま持参(0 人)	LAN ケーブルで可能(1 人)	
		LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能(2 人)	いいえ(8 人)

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	校内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
大学のイベントに積極的に参加していた。ジムに入会した。	MU というフードコートでお昼を食べていた。
友達とあそんだりパーティーしたりしてた	Mu という食堂のようなところでご飯を食べたり、話したりしていた
毎週末曜日のグローバルランチのハンガアウト、グローバルランチのイベント	MU
大学のイベントでグランドキャニオンへ行ったり、留学生で室内スポーツを楽しんだりした。サンクスギビングデーやハロウィンにパーティーが開催され、フードやボードゲームを楽しみました。また、アメフトなどのスポーツ観戦もしました。	バーガーキングや学校内の売店、ベントウという日本食屋さんをよく使っていました。
趣味のベースギターを弾いていました。	学校内や学校付近にスターバックスはもちろんその他のコーヒーショップも沢山ありました。ルームメイトと Gold Bar Espresso というコーヒーショップによく通っていました。
私は基本友達と留学生イベントに参加したり、現地の人とジムで知り合ったりして友達の輪を広げてました。	放課後は基本的に友達の家でパーティーをしたり映画鑑賞をしたり、遊びに連れて行ってもらったりと充実していました。たまにショッピングモールに行ったり、スーパー行ったりもしていました。
スポーツの試合を見に行ったり、友達と買い物やイベントに参加していた。	学校のジムでスポーツや筋トレをした。
放課後は毎日外国の友達と居ました。カフェテリアでご飯を食べながら話したり、休日は毎週 20 人くらいで集まってパーティーをしていました。	バーガーキング、ジャックインボックス

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
ホームステイで使えるような会話を勉強した。
早めに準備して忘れ物のないようにした。ホストファミリーや現地でお世話になる人のプレゼントをいろいろ買っておいた。
留学先の地域について調べた
留学に行く前に TOEIC を受けた。
外大から提示されていた準備物、書類など。少しでもオンライン英会話をしていた
ビザ、パスポート、ワクチンなどの証明書
耳を鳴らすために毎日リスニングしていた。大学の情報についてたくさん調べることにした。

留学前にしておけばよかったと思う準備
日本の料理の練習
単語をたくさん覚える。
会話の重要表現やリスニング、とにかくリスニングはやって損はないです。時間があるなら WRITING の練習をしておいてもいいかもしれません。
単語を総復習してから行けばよかったと思いました。
英語や最低限のマナーを学習しておく
留学前に話すことはできなくても、聞き取れるぐらいにはしておくべきだったと思った。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
サララップ、日本のサララップは使いやすい、水筒、水が高かったから、ふりかけ、お箸、味噌汁、スリッパ
マスキングテープ、シャンプー類、わさびなどの調味料。
スリッパ(室内で履く用)、シャンプーやボディソープ、ドライヤー
薬は必ず持参。日本食もある程度あった方がいいです。ドライヤーやシャンプー、リンスも意外と必須だと思います。手帳
日本のお土産、薬(自分用)、シャンプー
浴衣
洗濯ネット(海外の洗濯機はとても粗いので、ネットなしだと服がちぎれたりする)、イソジン、薬、メイク落とし2個、温度計

日本から持っていく必要のなかったもの
ハンガー、日本から参考書、マスク
ハンガー。
電子辞書
タオル、服
お箸セット、
ホストファミリーへのお土産用の日本食(食の好みが違うのであまり食べてくれない、先に日本のほしいものを聞いてから持っていくべきだった)、洗濯洗剤、ばんそうこう、ノート(日本で使うノートはサイズが小さいので使えない)

日本から持参すればよかったと思ったもの
シャンプー、海外でも購入できるが日本の物が良い
整髪剤。
日本食
カップラーメン、冬用の服、単語帳
頭痛薬、風邪薬、目薬
日本製のラップ
のど飴（アリゾナは乾燥していて喉が痛くなるが多かった）、長袖

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットカード、現金	現金5万、クレジット20万
ネットで換金して現金とクレジットカードどちらでも払えるよう準備しました。	クレジットカードは上限30万円で、現金は20万
デビットカード(日本円で口座に入金しても海外で使用できるもの)、現金を空港で換金	口座に30万、現金10万
クレジットカード、デビットカードで主に決済していました。たまに現金で払うときもありました。	現金は8万、クレジットカードは2枚あって、一枚は上限30万で一枚は上限20万でした。マスターカードとVISAカードを持参しました。必ず違う会社のカードを一枚ずつ持っておくべきだと思います。時々切れないときがあります。
クレジットカード2枚(うち1枚はデビットカードとしても使える)、現金700ドル	クレジットカード上限20万円、現金10万円
クレジットカードを作る、換金する	500ドル、クレジットカード上限20万円
月2、3万円程度	テキスト代は前の留学生が置いていたものを使ったので100ドルほど。通学費は70ドル程度。
クレジットカード2枚と現金	クレジットカード合わせて上限40万円と現金15万円
VISA、マスターカード、現金	クレジットカード上限10万、現金1000ドル

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
食費は約5万。お昼ご飯や、夜友達と食べる時に使った。	テキスト8冊で約6万円かかる。現地の人に借りていた。通学費はU-passというカードがあり、約1万5000円。
住居費はなし。食費は30万くらい。	テキスト代は約8万円で、通学費はなし。(無料バス)
食費は毎日10~30ドル	
食費:月5、6万(円高すぎて)住居費はプログラムに含まれていました。	テキストは前期3、4万でしたが後期は譲ってもらったのが何冊かあったので1、2万で済みました。通学は主にバスで35\$くらいのバスパスで4か月通っていました。しかし私は家が遠いこともあり、バスがない時間が早かったのでUberタクシーを使っていました。
水代と外食費。外食費は10-30ドルほど	通学は無料のバスを利用したのでお金はかかりませんでした。テキスト

	代は毎 term200ドル以上かかりました。とても高かったです。
一括で払っていたと思うので分かりません。食費は、昼に 10 ドルくらいずつ毎日払っていたと思います	テキスト代 20000 円くらい。通学費は カードを最初買ってそれ使っていました
すいません。わかりません。	テキスト代425ドル、通学費75ドル(バスの定期代)

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など	
ロサンゼルス旅行、10万	
ロサンゼルスに飛行機で二泊三日でアナハイム。ディズニーもいったので7万くらいはかかった	
ロサンゼルス(4日間、約8万)、グランドキャニオン・アンテロープキャニオン・ホーシューベン(2日間、約3万)、ニューヨーク(4日間、約10万、飛行機、友達の寮)	
10月にロサンゼルスへ4日間行きました。費用は約10万円で、ハリウッドやディズニーランドに行きました。移動手段は飛行機とUberでした。	
LAに3泊4日の旅行は1ヶ月前ほどから予約などの準備を始めました。交通は飛行機とタクシーを使いました。ディズニーやユニバーサルスタジオに行ったこともあり、予算は高めで15万円ほどでした。セドナに1泊2日の旅行はほぼ弾丸で、予定の5日前ほどに行くことを決定して計画を立てました。宿泊はホテルではなくエアビで、テーマパークに行ったわけではなく、どちらかというと自然観光だったのでお金はそこまでかからなかったです。	
LAへ旅行した際はExpediaを使いホテルと航空券の手配をして、現地ではタクシー移動をしていました。費用は3泊4日、日本円10万円強でした。	
三泊四日で飛行機を使ってロサンゼルスに行き、費用は約10万円ほどでした。	
ニューヨーク旅行	

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。	
旅行や買い物に約25万	
お土産に20万くらい。	
30万円ほど	
旅行、服、靴、お土産、昼ご飯、(2, 30万)	
毎月片方のクレジットカードの請求額は10万円から20万円ほどでした。もう1枚のほうは10万円前後だったと思います。	
月に10万円以上はかかった	
200万円くらい	
飛行機代や、車で旅行に行った時のガス代とレンタカー代にとってもお金がかかった。いろんな場所に行きたかったので買い物はあまりしないようにしていた。	

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析	
日常会話レベルの会話力を身につけることができた。先生に積極的に質問できるようになった。	
語学力は留学前より成長して、多くの単語や表現を覚えました。コミュニケーション能力も周りにアメリカ人や他の国の留学生がいるおかげで向上することができた。しかし、積極的に会話しに行けなかったので努力したいです。	
スピーキングに関しては留学前よりも明らかに成長したが、リスニングは大幅に成長することはなかった。	

私は正直そんなに英語が達者な方ではなかったが、リスニングのほうが得意だったので言っていることは理解できたのでそれを聞いてよく笑っていました。よく笑う子と印象がついていたのであんまり話さなくてもそれで周りと打ち解けることができました。

日本人と話すときよりコミュニケーション能力はなかったと思います。でも、積極的に話すようにコミュニケーションをとることを意識して過ごしました。アメリカに到着してしばらくは自分の英語が不安で外国の方と話すことが少し怖かったのですが、しばらくしたらそれも無くなりました。

スラングをたくさんおぼえた

どちらも伸びたと言いきれます。アメリカの方がコミュニケーション能力に優れている人が多いので、無意識に影響されて自分から話しかける回数も多くなりました。語学力も間違いなく伸びました。ずっと外国人といたのでたくさん教えあいながら成長出来ました。

留学に来る前より、コミュニケーション能力は上がったと感じられた。耳が英語に慣れた。

留学前の目標とその達成度

留学前の目標は日常会話レベルの会話力を身につけること。達成できたと思う。

目標は英語能力の向上とアメリカ文化やマナー、性格などを知ることでした。達成度は、100%です。

留学前の目標は現地の友人をたくさん作ることで、その目標は達成することができ満足しています。

留学前はじぶんの語学力向上だけが目標だったが、それ以上のものが得ることができた。異文化理解力や視野の広さなど

もっと話せるように、英語をもう少し使いこなせるようになりたかったです。やっとスラングやコミュニケーションの取り方が身に付いてきたのかもしれないと感じたときにはもう残り1週間で帰国という感じで、達成度はそこまで高くないと思いました。

ネイティブとスムーズに話せるようになるのが目標だったけどすこし難しかったけど、前より聞き取れて、話せるようになった

8割くらい

日本に帰ってきて連絡を取り合えるような友達を作ること。4か月の間で英語を耳に慣らすこと。TOEFLの点数をあげること。

留学を通しての成長ポイント

クラス内で発言することが怖くなくなった。分からないことがあればすぐに先生に聞く力がついた。

まず、海外の環境でも周りの人と会話でき買い物など様々な場所で活動できる自信ができました。また、初めて親や友達と離れて生活をする中で自分で行動する自立心も鍛えることができました。この経験を今後の体験に活かしたいと感じました。

英語を話すときに頭の中で日本語から英語に代えるのではなく、瞬時に英語を考えられるようになった。

圧倒的に人を平等に見られるようになったし偏見が無くなった。外国人だからじゃなくて自分から歩み寄ろう、理解しようと思えるようになった。英語に対する恐怖感はなくなった。

度胸と物怖じしないメンタルが身に付いたと思います。アメリカで日本では経験することがないようなトラブルやハプニングが沢山起こり、それを1人で英語で解決しなければいけないことが多くて苦労しました。日本に帰ってきて今何かトラブルに巻き込まれたとしても、まあ日本語やしまし、大丈夫、と考えて対処できると思います。

英語力だけでなく、いつもとは違う環境で過ごすことに対する対応力がみについた

コミュニケーション能力、大きな視野を持つ力、何事にもポジティブに行く力です。日本にいた時は、出会ったことの無かったヴィーガンの方、イスラム教で豚肉やお酒が禁止な方、沢山と出会いました。私が20年間生きてきた中で体験したことって小さなことで、もっともっと世界には私の知らない世界が広がっているんだなと感じました。

自分に自信がつくようになった。自分の意見を素直に言えるようになった。英語に慣れることが出来た。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前はモチベーションがなかったが、留学後はもっと英語を学びたいという気持ちに変わった。留学中は課題で忙しく、語学学習はできなかった。

留学前はこれから始まる留学に少し緊張しながらもとても楽しみに準備していました。留学中は、時々言葉が通じず会話がぎこちなくなったりもしました

が、時間が経つうちにたくさん会話できるようになりました。留学後は、来年に向けて休暇中にいろんなチャレンジをしたいと思うようになりました。
留学を通してモチベーションはどんどん上がっていき、帰国後も学んだことを失わないように努力しようという気持ちになっています。
留学前は何かかならうと思っていたが留学中は刺激を受けっぱなしでどんな会話表現を使っているか友達から学んだり調べたりして使ったりしていた。帰国後はもっと話せるようになりたいと思い、洋画を字幕なしで見るようになり一日一回は英語をはなすようにしている。
学びたいという意識はずっと高くありましたが、授業で学ぶというより現地ですでた友人と話していた方が学ぶことを感じる事が多く、帰国してからもその友達との交流を閉ざしたくないなと思います。
ただただアメリカにきたという気持ちだけだったけど、今は自分がまだまだであることを実感したのでアメリカで学んだことを忘れず、洋画や洋楽について、日本にきている留学生と積極的に話すようにしたいと思った
留学前は、何も想像が付きなかつたので友達ができるかなど不安でした。留学中は、初日にできた友達とずっと一緒に居て英語を話すのが楽しすぎて日本人のルームメイトとも英語で話していました。留学後は、この身につけた力を忘れたくないのでアリゾナの子達と電話をしたりリスニング力を上げるために色々な英語を聞いています。
留学前は、モチベーションがとてもある状態ですが、留学中は時々壁にぶち当たる時があるのでモチベーションが下がる時がある。留学後はまたモチベーションが上がる。

留学中 100%力を振り絞った瞬間
外国人とのペアプレゼンテーションを頑張った。相手の成績も関係しているので、プレッシャーの中練習に励んだ。
最後に課題で難しい内容のエッセイとディスカッションの対策をすることに力を振り絞りました。
それぞれの授業の中間テストと期末テスト
私は仲のいい外国人の友達を作ることが小さな目標でした。それを達成できて、そして初めて外国人の友達と喧嘩をして、仲直りをするために相手の国民性や異文化理解などに真剣に向き合って理解しようと努力したので私はとってもいい経験をした留学生活だったと思います。
私の家はマザー1人だったので、日本人のルームメイトが来るまで私とマザーの2人で会話をする事が多かったのですが、マザーがとても話好きなので専門的な話をすることがとても頻繁にありました。日本とアメリカの葬式の違いや、家族のあり方など難しい話題が多く、自分が使える英語を駆使して話していました。
パーティーあとにプレゼンの準備をした
放課後に課題をして、ジムに行って、家で勉強をして次の日の朝8時にスタバに友達と集合してプレゼンの準備をしていた時です
スピーキング・リスニングの時の最終テスト。

留学先大学の良かった点
外国人と関われる機会がたくさんある。沢山のフリーパスがある。みんなとてもやさしくてはなしてくれる。
様々なイベントを開催してくれたところ。
たくさんのイベントごとがあり、英語を話す機会がたくさんあったところが良かった。グローバルランチのイベントで、グランドキャニオンに行くイベントが良かった。
先生や周りの生徒はとても優しく、とても授業を受けやすい環境でした。課題の難しさや頻度も普通で勉強面での苦労はなかったです。食堂もある程度の種類の食事があり、とても美味しかったです。また、放課後や週末のイベントもとても楽しく、たくさんいい思い出を作れました。
広くて施設設備が充実している
留学生プログラムで沢山イベントがあったことがとてもありがたかった。
広くてきれい、いろいろな人種の人と触れ合える、スポーツ観戦やイベントの参加は留学生は無料。
毎日毎日色々なイベントが開かれている。留学生とか関係なしに、イベントに参加しようと声をかけてくれる。困った時や何かあった時には、心理カウンセラーや専属のスタッフが付けてくれる。

